

報告事項 2（周知・報告）

令和元年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の調査結果について

標記について、次のとおり報告する。

令和 2 年 11 月 10 日

文部科学省 令和元年度

「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果

1. 暴力行為

国公立小中高	H30	R01	増加率
大阪府	6,755 件	6,246 件	▲7.5%
全国	72,940 件	78,787 件	8.0%

- 全国の学校の暴力行為件数は増加しているが、大阪府では減少傾向。
- 特に中学校での暴力行為発生件数の減少が顕著。

2. いじめ

国公立小中高支援	H30	R01	増加率
大阪府	35,951 件	43,911 件	22.1%
全国	543,933 件	612,496 件	12.6%

- いじめ認知件数は、すべての校種で大きく増加している。各校で、法の定義に基づき、積極的に認知を行い、いじめの見逃しを防いでいる。

3. 不登校

国公立小中学校	H30	R01	増加率
大阪府	11,414 人	12,480 人	9.3%
全国	164,528 人	181,272 人	10.2%

- 小中学校における不登校児童生徒数はここ数年大幅に増加しており、喫緊の課題。

国公立高等学校	H30	R01	増加率
大阪府	6,106 人	5,924 人	▲3.0%
全国	52,723 人	50,100 人	▲5.0%

- 高等学校における不登校生徒数は、全国同様、減少を示している。
- 千人あたりの不登校生徒数は、全国と比較すると、引き続き厳しい状況であり、喫緊の課題。

4. 中途退学

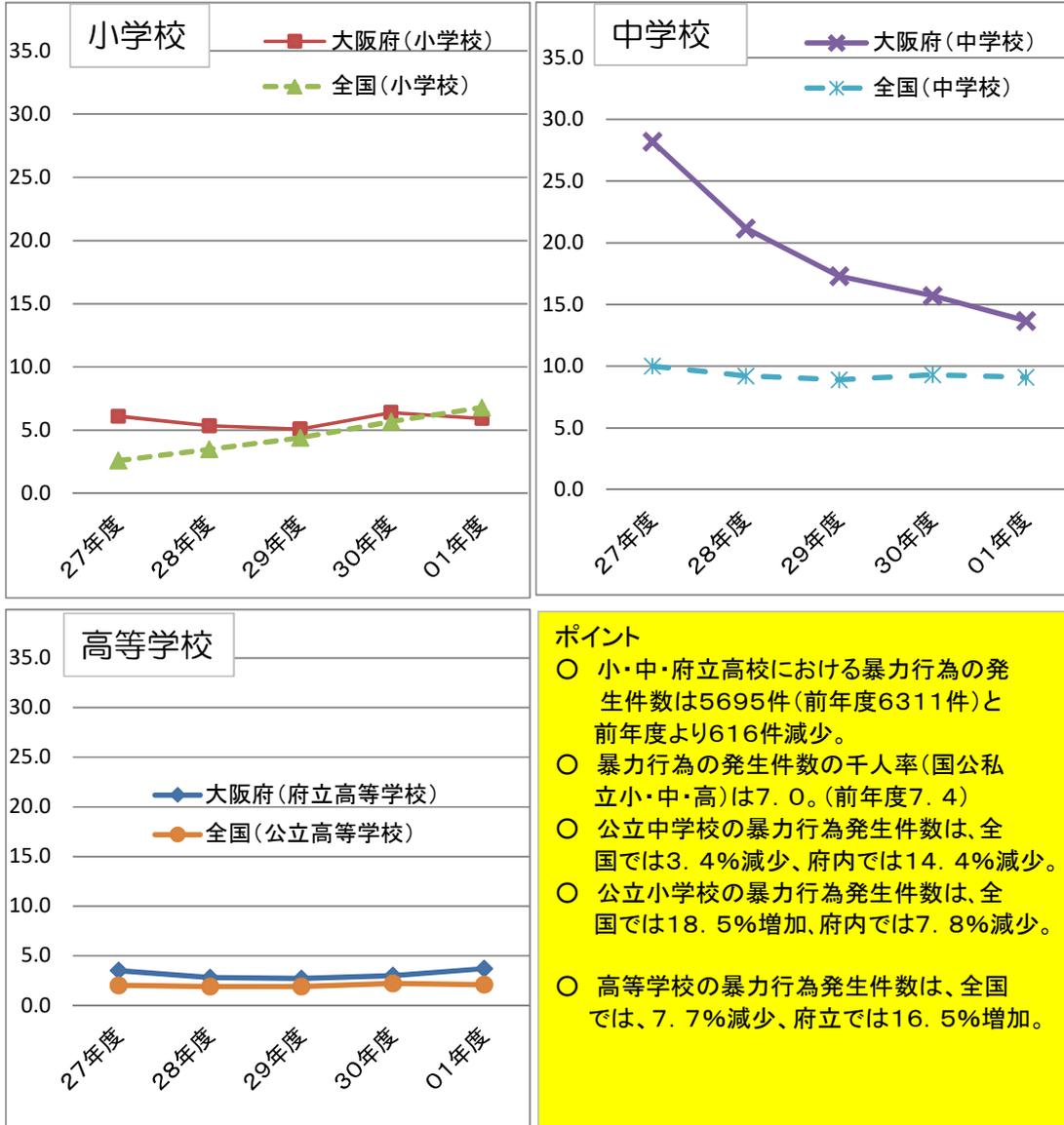
国公立高等学校	H30	R01	増加率
大阪府	3,897 人	3,329 人	▲14.6%
全国	48,594 人	42,882 人	▲11.8%

- 中途退学生徒数は、全国の傾向と同様、減少を示している。

令和元年度「問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」における結果について

1-1 暴力行為発生件数（千人あたり）

（単位：件）



暴力行為発生件数

（単位：件）

上段：発生件数		27年度	28年度	29年度	30年度	01年度
下段：（千人率）						
小学校	府（公立）	2,693	2,336	2,207	2,753	2,539
	全国	16,835	22,240	27,696	35,910	42,548
中学校	府（公立）	6,233	4,551	3,623	3,201	2,740
	全国	31,878	28,908	27,511	28,062	27,120
高等学校 (全・定・通) ※通はH25～	府立	432	348	331	357	416
	全国(公立)	4,593	4,498	4,408	4,945	4,564

1-2 暴力行為態様別発生件数

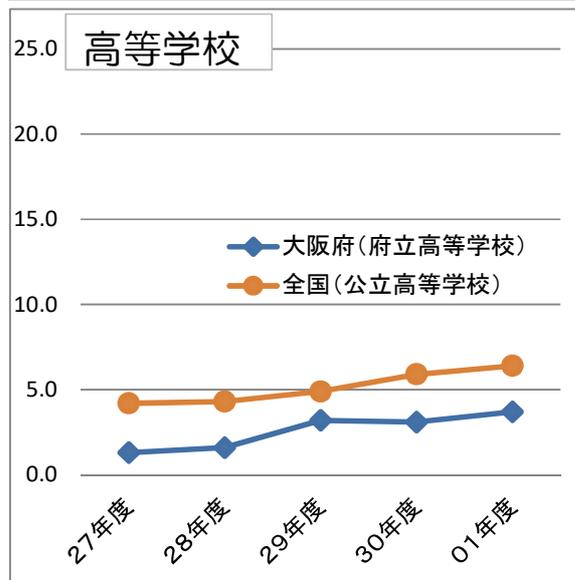
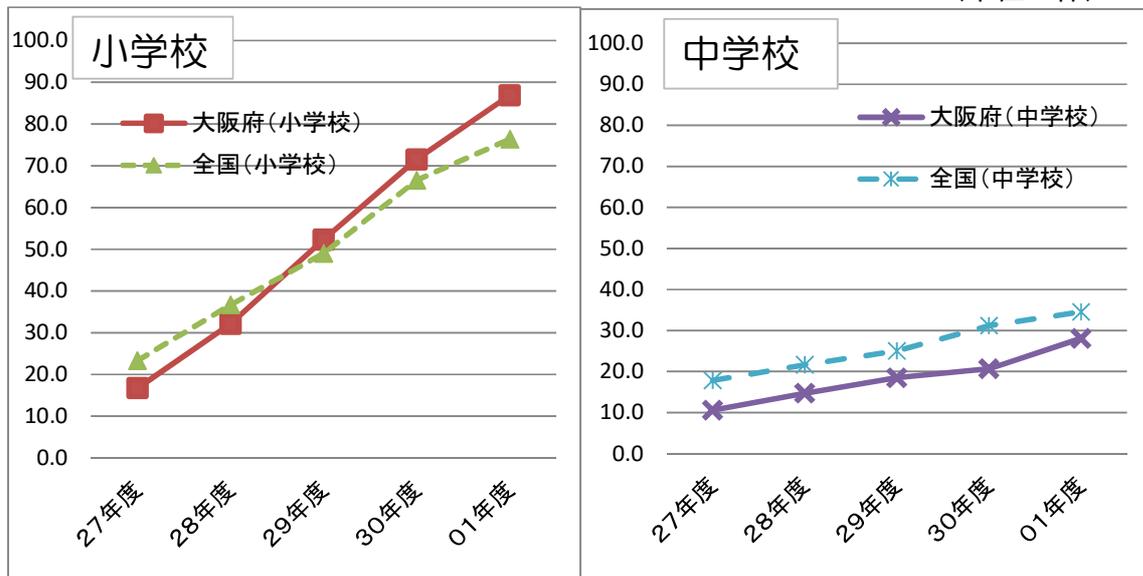
(単位：件)

上段：発生件数/下段：千人率		27年度	28年度	29年度	30年度	01年度
小学校	対教師暴力	546	380	348	512	520
		1.24	0.87	0.80	1.19	1.21
	児童間暴力	1646	1541	1561	1793	1679
		3.73	3.53	3.60	4.15	3.92
	対人暴力	52	20	35	37	26
		0.12	0.05	0.08	0.09	0.06
	器物損壊	449	395	263	411	314
		1.02	0.90	0.61	0.95	0.73
中学校	対教師暴力	1217	942	732	555	438
		5.51	4.38	3.49	2.73	2.18
	生徒間暴力	3575	2872	2287	2089	1806
		16.17	13.35	10.91	10.28	9.01
	対人暴力	137	97	86	80	68
		0.62	0.45	0.41	0.39	0.33
	器物損壊	1304	640	518	477	428
		5.9	2.97	2.47	2.35	2.13
高等学校 【府立】	対教師暴力	65	64	44	49	36
		0.52	0.51	0.36	0.41	0.32
	生徒間暴力	286	226	236	239	271
		2.29	1.81	1.93	2.01	2.40
	対人暴力	21	18	7	12	9
		0.17	0.14	0.06	0.1	0.08
	器物損壊	60	40	44	57	100
		0.48	0.32	0.36	0.48	0.88

令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」における結果について

2-1 いじめの認知件数（千人あたり）

（単位：件）



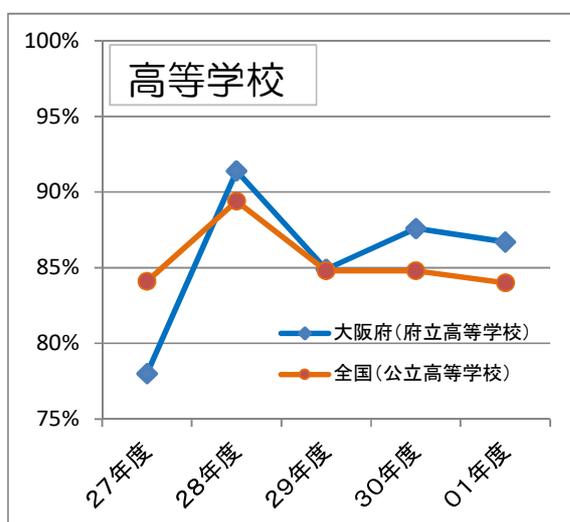
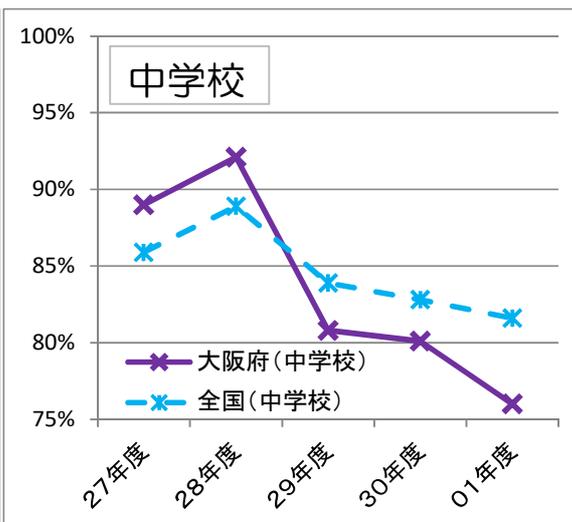
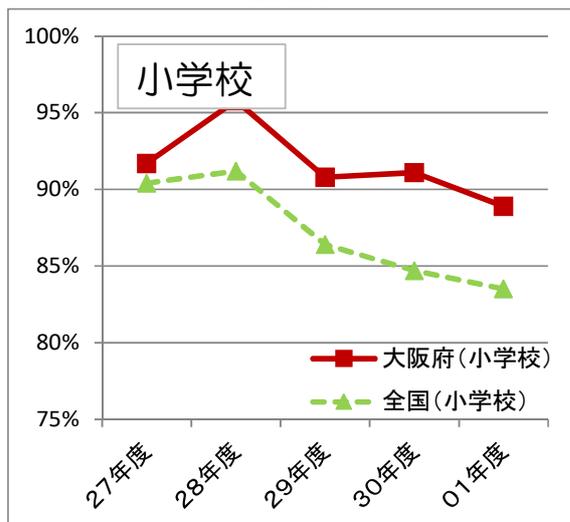
ポイント

- 小・中学校の千人率は、平成27年度から大幅に増加傾向。府立高校の千人率は、平成29年度から大幅に増加傾向。
- 令和元年度の全国の千人率は、大阪府と比較して、小学校は0.9倍、中学校は1.2倍、府立高校は1.7倍。
- 国から、いじめの正確な認知に向けた指導があり、全国的にいじめの認知件数は増加。
- 特に、府内公立小学校の認知件数は、平成27年から急増した。(H26→H27 +4576件 H27→H28 +6641件 H28→H29+8666件 H29→H30 +8172件 H30→R01 +6290件)
- いじめの認知件数の千人率(国公私立小・中・高・支)は48.5(昨年度は39.1)。

いじめの認知件数

上段：認知件数		27年度	28年度	29年度	30年度	01年度
下段：(千人率)						
小学校	府(公立)	7,376	14,017	22,683	30,855	37,145
	全国	150,038	233,668	311,322	421,116	479,447
中学校	府(公立)	2,340	3,168	3,873	4,212	5,632
	全国	57,032	68,291	77,137	93,921	102,738
高等学校 (全・定・通) ※通はH25～	府立	164	197	391	371	418
	全国(公立)	9,724	10,017	11,212	13,134	13,918

2-2 いじめの解消率



○いじめの解消率は、前年度と比べ、小・中・府立高校とも減少(小: -2.2ポイント、中: -4.1ポイント、高: -1.5ポイント)。

○小中学校のいじめの解消率(*)は、年々低下し、中学校では全国平均を下回った。今年度は特にコロナ禍により3月が休校になったこともあり、解消の確認に時間を要した。加えて、加害・被害の保護者の心情に配慮し、解消の判断に慎重になるケースが増えていることも要因のひとつ。

○府立高校のいじめの解消率は、86.1%であり、昨年度より1.5ポイント減少したものの、全国の84.0%より高い水準にある。保護者や専門家(SC等)と連携し、生徒に寄り添った対応を進めたことが要因のひとつ。

いじめの解消率

(単位: 件)

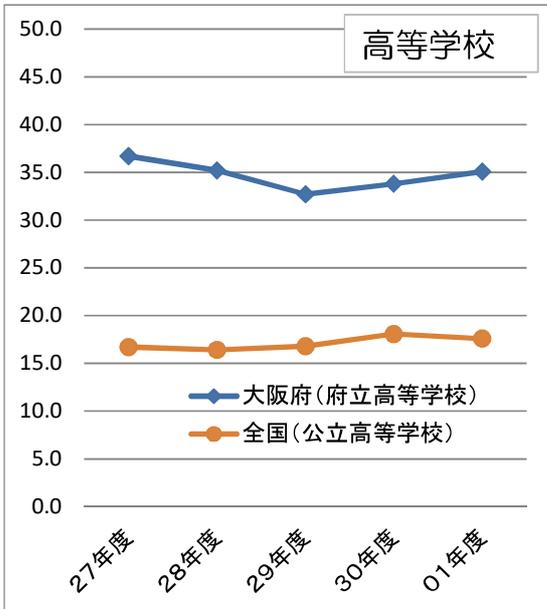
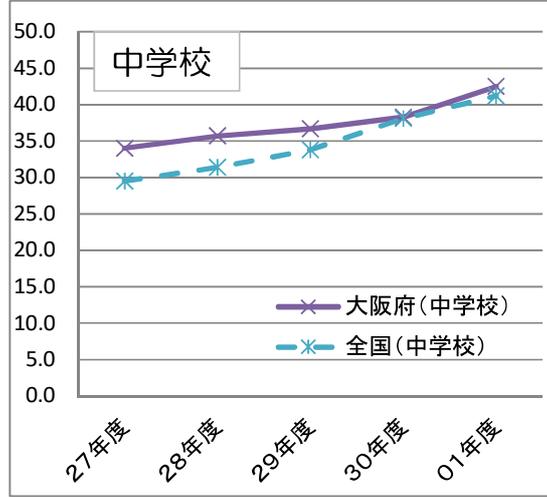
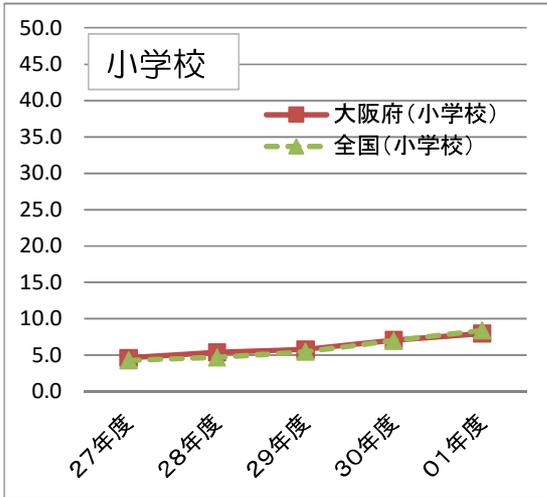
上段: 解消件数 下段: (解消率)		27年度	28年度	29年度	30年度	01年度
小学校	府(公立)	6,762 91.7	13,428 95.8	20,600 90.8	28,118 91.1	33,006 88.9
	全国	135,602 90.4	213,094 91.2	268,864 86.4	356,653 84.7	400,440 83.5
中学校	府(公立)	2,082 89.0	2,917 92.1	3,129 80.8	3,374 80.1	4,280 76.0
	全国	49,019 85.9	60,720 88.9	64,683 83.9	77,769 82.8	83,841 81.6
高等学校 (全・定・通) ※通はH25~	府立	128 78.0	180 91.4	332 84.9	325 87.6	360 86.1
	全国(公立)	8,193 84.3	8,959 89.4	9,507 84.8	11,139 84.8	11,694 84.0

※いじめ解消の考え方

- ①約3か月いじめ行為が止んでいること
- ②面談等により被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないと認められること

令和元年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」における結果について

3-1 不登校児童生徒数（千人あたり）



ポイント

- 小・中学校における不登校児童生徒数は11,927人(前年度10,850人)と前年度より1,077人増加。
- 大阪府の不登校児童生徒数の千人率(国公立 小・中学校)は18.9(前年度17.1)。
- 不登校児童生徒数の千人率は公立小・中学校ともに平成24年度より増加が続いている。
- 府立高校における不登校生徒数は、3,897人(前年度3,918人)と前年度より21人減少。
- 大阪府の不登校生徒数の千人率(国公立 高等学校)は昨年度と同じ26.9。
- 府立学校における不登校生徒数の千人率は、減少が続いていたが、平成30年度より増加傾向となっている。

(単位：件)

上段：人数 下段：(千人率)		27年度	28年度	29年度	30年度	01年度
小学校	府(公立)	2,048 4.6	2,365 5.4	2,513 5.8	3,063 7.1	3,410 8.0
	全国	27,333 4.3	30,172 4.7	34,732 5.5	44,471 7.0	52,905 8.4
中学校	府(公立)	7,519 34.0	7,681 35.7	7,691 36.7	7,787 38.3	8,517 42.5
	全国	94,548 29.5	98,944 31.4	104,295 33.8	114,379 38.1	122,519 41.2
高等学校(全・定)	府立	4,512 36.7	4,322 35.2	3,921 32.7	3,918 33.8	3,897 35.1
	全国(公立)	37,793 16.7	37,049 16.4	37,493 16.8	39,623 18.1	37,692 17.6

3-2 大阪府における不登校の要因

(単位：人)

上段：発生件数／下段：(割合)		27年度	28年度	29年度	30年度	01年度
小学校	学校における人間関係	296 14.5%	299 12.6%	303 12.1%	393 12.8%	R1より調査項目変更
	あそび・非行	22 1.1%	24 1.0%	26 1.0%	33 1.1%	
	無気力	690 33.7%	772 32.6%	774 30.8%	921 30.1%	
	不安	648 31.6%	698 29.6%	855 34.0%	986 32.2%	
	その他	392 19.1%	572 24.2%	555 22.1%	730 23.8%	
中学校	学校における人間関係	1230 16.4%	1230 16.0%	1282 16.7%	1405 18.0%	
	あそび・非行	912 12.1%	733 9.6%	653 8.5%	486 6.2%	
	無気力	2,401 31.9%	2,653 34.5%	2,602 33.8%	2,686 34.5%	
	不安	1,948 25.9%	1,996 26.0%	2,207 28.7%	2,296 29.5%	
	その他	1,028 13.7%	1,069 13.9%	947 12.3%	914 11.7%	
高等学校 (全・定)	学校における人間関係	349 7.7%	362 8.4%	325 8.3%	471 12.0%	
	あそび・非行	793 17.6%	682 15.8%	773 19.7%	572 14.6%	
	無気力	2,275 50.4%	1,782 41.2%	1,655 42.2%	1,601 40.9%	
	不安	619 13.7%	459 10.6%	471 12.0%	587 15.0%	
	その他	476 10.5%	1,037 24.0%	697 17.8%	687 17.5%	

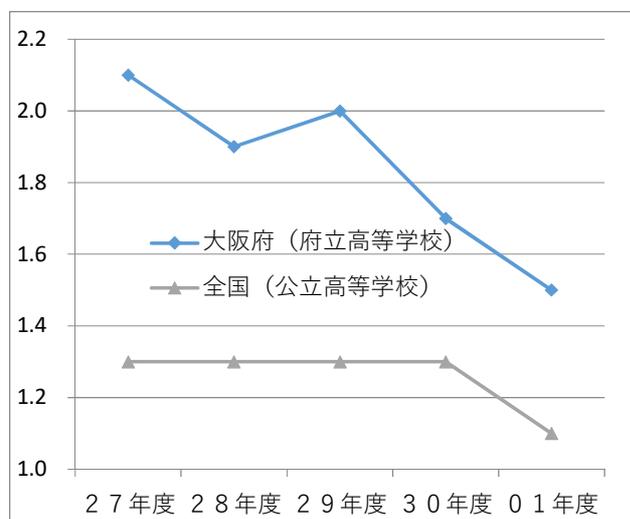
3-2 大阪府における不登校の要因 (R01より項目変更)

(単位:人)

上段:発生件数/下段:(割合)		01年度			
小学校	友人関係	315 9.2%			
	教職員との関係	86 2.5%			
	学業・進路	96 2.8%			
	部活動	0 0.0%			
	学校のきまり	39 1.1%			
	入学・進級	59 1.7%			
	家庭の変化	127 3.7%			
	親子関係	653 19.1%			
	家庭不和	57 1.7%			
	生活リズム・遊び・ 非行	418 12.3%			
	無気力・不安	1468 43.0%			
	中学校	友人関係	1512 17.8%		
教職員との関係		102 1.2%			
学業・進路		556 6.5%			
部活動		68 0.8%			
学校のきまり		131 1.5%			
入学・進級		350 4.1%			
家庭の変化		244 2.9%			
親子関係		634 7.4%			
家庭不和		152 1.8%			
生活リズム・遊び・ 非行		948 11.1%			
無気力・不安		3730 43.8%			
高等学校 【府立】 (全・定)		友人関係	363 9.3%		
	教職員との関係	7 0.2%			
	学業・進路	460 11.8%			
	部活動	7 0.2%			
	学校のきまり	72 1.8%			
	入学・進級	246 6.3%			
	家庭の変化	73 1.9%			
	親子関係	124 3.2%			
	家庭不和	68 1.7%			
	生活リズム・遊び・ 非行	802 20.6%			
	無気力・不安	1369 35.1%			

令和元年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の調査結果について

4 中途退学生徒数（％）



ポイント

- 府立高校においては、全日制および定時制の中途退学者数が共に減少している。
- 大阪府（国公私）でみると、中途退学率は全国ワースト10位。府立高校における中途退学率は改善傾向にあるものの、全国水準とは開きがある。
- 各校の教育相談体制を充実させるとともに、SCやSSW等の専門家や福祉機関を含めた関係機関との連携に努める必要がある。

上段：中途退学者数（人） 下段：中途退学率（％）		27年度	28年度	29年度	30年度	01年度
高等学校 (全・定・通)	府立	2,651 2.1	2,337 1.9	2,382 2.0	1,952 1.7	1,703 1.5
	全国 (公立)	31,083 1.3	29,531 1.3	28,929 1.3	28,513 1.3	25,038 1.1